



2021年1月28日

## ニュースリリース

各 位

会社名	ビート・ホールディングス・リミテッド (URL : <a href="https://www.beatholdings.com/">https://www.beatholdings.com/</a> )
代表者名	最高経営責任者 (CEO) 松田 元 (東証第二部 コード番号 : 9399)
連絡先	経営企画室マネージャー 高山 雄太 (電話 : 03-4570-0741)

### BTS カラー・コンタクトレンズ販売サイト「IROCON.」 の正式オープンに関するお知らせ

当社では、2020年12月24日付ニュースリリース「BTS カラー・コンタクトレンズ販売サイト『IROCON.』のプレオープンに関するお知らせ」にて、当社連結子会社ビートホールディングスジャパン株式会社（以下、「BHJ」といいます。）が保有する韓国の著名な男性 Hip Hop アイドルグループ「BTS (방탄소년단、防弾少年団)」等を広告宣伝キャラクターに使用したカラー・コンタクトレンズ（以下、「本件レンズ」といいます。）の日本国内独占販売権を使用許諾した株式会社 KNW トレーディング（2020年9月30日付で旧社名 WIKENJI から社名変更。以下、「KNW」といいます。）が直営する e-コマースサイト「IROCON.」をプレオープンしたことをお知らせしました。

本日、KNW が当該サイトを正式オープンし、消費者あて直販を開始しましたので、以下の通りお知らせいたします。

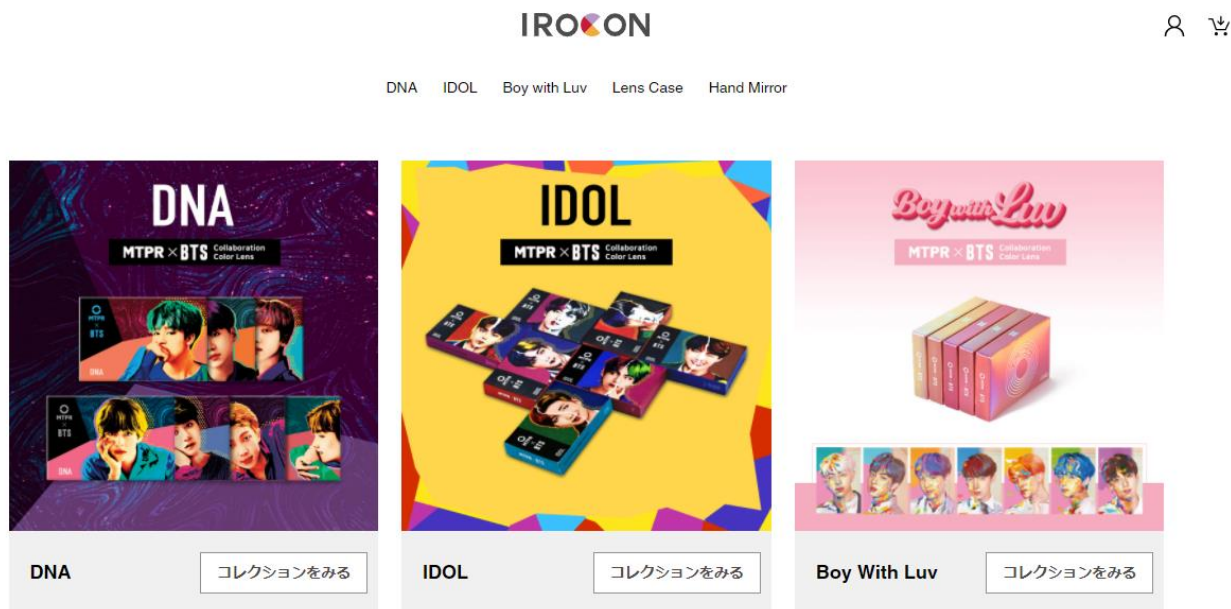
#### 1. 「IROCON」サイトと取扱商品

KNW によれば、本日より同社の直営 e-コマースサイト「IROCON.」 (<https://irocon.jp>) が正式オープンされ、当該サイトにて本件レンズおよび関連商品の購入が可能となったとのことです。昨年12月24日時点で、当該サイトのコンテンツ案は既に完成しており、同社としては年末までの正式オープンを目指したものの、販売サイト内の商品等画像やキャッチコピーの表現等に関し韓国の肖像権等知的財産権保有者の詳細かつ厳格な審査をクリ



アすることが必要で、韓国側との調整を重ねた結果、本日の正式オープンとなったものと説明を受けております。

## IROCON. トップページ (PC版)



取扱商品は、当面の間は、下記 BTS をイメージキャラクターとするカラー・コンタクトレンズ 1 month タイプ 13 種類及び 1 day タイプ 3 種類、並びにレンズ保管用のティンケース 9 種類です。本件レンズは、いずれも韓国直輸入で、日本の厚生労働省の厳格な品質基準を満たしており、当社が日本における独占販売権を獲得し、KNW に当該権利の使用を許諾した「正規品」です。

なお、各商品は、すべて BTS のヒット曲やアルバム名にちなんだネーミングとなっています。

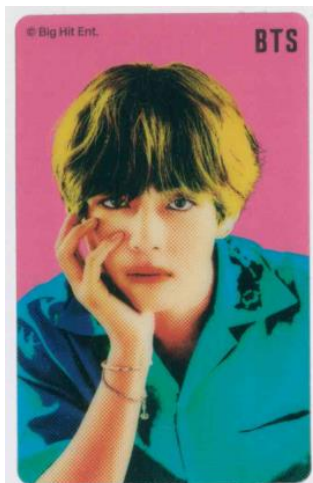
- (1) DNA カラー・コンタクト  
1 month : 4 色 (Brown, Blue, Pink, Light Blue)  
1 day : 1 色 (Brown)
- (2) IDOL カラー・コンタクト  
1 month : 4 色 (Gray, Olive Green, Blue, Hazel)  
1 day : 1 色 (Gray)
- (3) Boy with Luv カラー・コンタクト  
1 month : 5 色 (Hazel, Indigo Blue, Blue, Gray, Pink)  
1 day : 1 色 (Brown)
- (4) レンズ保管用ティンケース  
IDOL : 7 種類、Boy with Love / PERSONA : 各 1 種類

※カラー・コンタクトは、1 month : 2 枚 1 セット、1 day : 10 枚 1 セット  
いずれも、度なし及び +1.00 ~ 8.00 の度付きあり

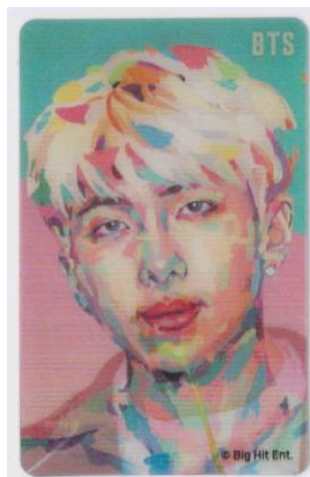


なお、本件レンズ及びティンケースには、BTS メンバー7名いずれかのフォトカード（次葉ご参照）が、すべて1セット当たり1枚（どのメンバーかはランダムに）同梱されています。韓国内では、当該フォトカードも商品の好調な売れ行きの一因となっているとのことです。

### メンバーフォトカード（43mm×85mm）

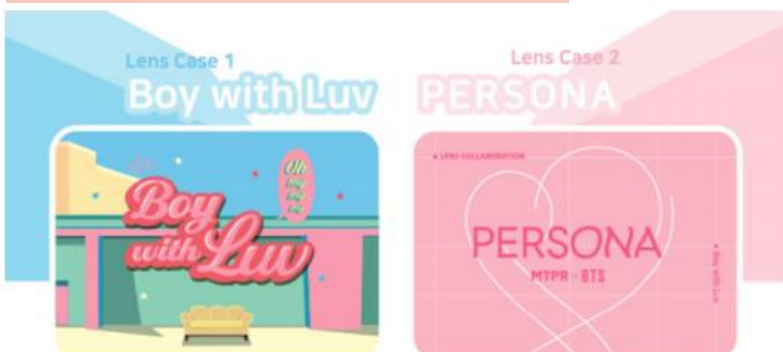


通常タイプ  
DNA、IDOL



レンチキュラー  
タイプ  
Boy with Luv  
見る角度により  
絵柄が変化

### ティンケース



また、今回、BTS カラー・コンタクト及びティンケースと共に、BTS の楽曲全7曲（DNA、IDOL、Boy with Luv、Mic Drop、On、Fake Love、Black Swan）をテーマにデザインされた手鏡を、世界初かつ日韓同時に販売開始することとなりました。



## BTS ミュージックテーマ・ハンドミラー



さらに、来月以降は、同じ韓国の男性アイドルグループ **Seventeen** をキャラクターに使用したカラー・コンタクトも市場投入していく予定とのことです。

## Seventeen フォトブックセット



1 monthタイプ：2枚  
CDサイズの50ページフォトブック：1冊  
A5サイズミニポスター：2枚  
(メンバー全員+ソロ)

以上が同梱されたファン垂涎の  
スペシャルセット

KNW によれば、今後は、韓国芸能人や韓流グッズの我が国国内における情報発信に関し実績を有する「K-style」メディア (<https://www.kstyle.com/>) ほか各種メディアや韓流に強いインフルエンサーの個人サイト等への積極的な露出により、まずは **BTS・Seventeen** やその他韓流スターのファンを中心に自社サイトへの誘導を図っていく一方、直販サイトに加え「若者文化の中心」東京都渋谷・原宿や「韓流の聖地」新大久保所在の大手化粧品・美容グッズ販売店とのコラボレーションによるポップアップストア展開や当該店舗におけるイベント実施(コンタクトを装着した参加者自身の画像を SNS に発信していただけた場合、大判ポスターほか **BTS** グッズの無料進呈等を企画)、大手コンタクト専門店・家電量販店等への卸売りも同時に立ち上げ、一気に商品の普及拡大を図っていく意向と承っております。



## 2. BHJ 及び KNW の概要

### BHJ

(1)	名 称	ビートホールディングスジャパン株式会社	
(2)	所 在 地	東京都港区南青山一丁目 2 番 6 号 ラティス青山スクエア 2 階	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 中村 真詩	
(4)	事 業 内 容	日本における当社グループの広報活動等	
(5)	資 本 金	10 百万円	
(6)	設 立 年 月 日	2000 年 7 月 28 日	
(7)	大株主及び持株比率	Xinhua Holdings (HK) Limited (以下、「XHHL」といいます。)、100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社 100%子会社である XHHL の 100%子会社です。
		人的関係	該当なし。
		取引関係	本件以外、該当なし。

### KNW

(1)	名 称	株式会社 KNW トレーディング	
(2)	所 在 地	東京都港区南青山二丁目 2 番 15 号ウィン青山 9 階	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 金 建 (Geon Kim)	
(4)	事 業 内 容	総合輸出入貿易業務、EC サイトの運営等	
(5)	資 本 金	7 百万円	
(6)	設 立 年 月 日	2017 年 4 月 7 日	
(7)	大株主及び持株比率	金 建、85.7%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当なし。
		人的関係	該当なし。
		取引関係	本件以外、該当なし。

## 3. 日程

- (1) IROCON直販サイトオープン : 2021 年 1 月 28 日
- (2) ポップアップストア展開・卸売開始 : 2021 年 2 月中旬以降 (予定)

以 上

### ビート・ホールディングス・リミテッドについて

当社、ビート・ホールディングス・リミテッドは、ケイマン諸島に本社を置くグローバルな投資業務を本業として、所有する知的財産権及びブロックチェーン技術に基づいてメディア・ブロックチェーン・エコシステムの構築を含むアプリケーションの開発、及び知的財産権のライセンス事業を行っております。また、子会社の GINSMS Inc. (トロント・ベンチャー証券取引所に上場、TSXV : GOK) を通じてモバイル・メッセージング・サービス並びにソフトウェア製品及びサービス、及び株式会社 CoinOtaku を通じてメディア事業を提供しています。当社は、東京証券取引所の市場第二部に上場 (証券コード : 9399)、ケイマン諸島においてケイマン法に基づいて設立・登記された会社であり、香港に事業本部を構え、日本、シンガポール、マレーシア、インドネシア、中国及びカナダに子会社を有しております。



詳細は、ウェブサイト：<https://www.beatholdings.com/> をご参照下さい。

本書は一般公衆に向けられた開示資料であり、当社株式への投資を勧誘するものではありません。投資家は、当社への投資を判断する際、当社の過去の適時開示資料及び法定開示資料を含むがこれらに限定されない資料を確認し、それらに含まれるリスク要因及びその他の情報を併せて考慮した上でかかる判断を行う必要があります。